

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × AsReader®  Digital
Transformation

2024年8月期第3四半期 決算説明資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2024年7月12日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

第一部：第18期（2024年8月期）第3四半期業績報告

- (1) 連結業績
- (2) セグメント別業績
- (3) 地域別業績
- (4) K P I
- (5) 株式関係

第二部：その他企業情報

- (1) 業績予想修正
- (2) 直近のリリース情報
- (3) 直近の展示会出展予定



第一部：第18期（2024年8月期）第3 四半期業績報告



(1) 連結業績



【損益状況】 2024年8月期第3四半期前年同期比較

(百万円)

	2023年8月期 第3四半期 (前期実績)	2024年8月期 第3四半期 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,227	1,107	▲ 119	-9.8%
売上総利益	403	316	▲ 86	-21.5%
売上総利益率	32.9%	28.6%		
営業利益	▲ 153	▲ 238	▲ 85	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 143	▲ 371	▲ 228	—
当期純利益率	—	—		

■売上高

バーコードリーダー及びアクセサリー類、ハード保守の販売が進みましたが、予定していた案件が第3四半期中に納品までいらず、前年同期比119百万円減の1,107百万円の結果となりました。

多くの商談を抱えており、第4四半期で受注・納品を進め、通期業績予想の達成に向けて活動いたします。

■売上総利益

売上高が前年同期を下回ったこと及び原価率が悪化したことにより、前年同期比86百万円減の316百万円の結果となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の改善（主に人件費）があったものの、売上高及び売上総利益の減収減益があり、前年同期比85百万円悪化の▲238百万円の結果となりました。

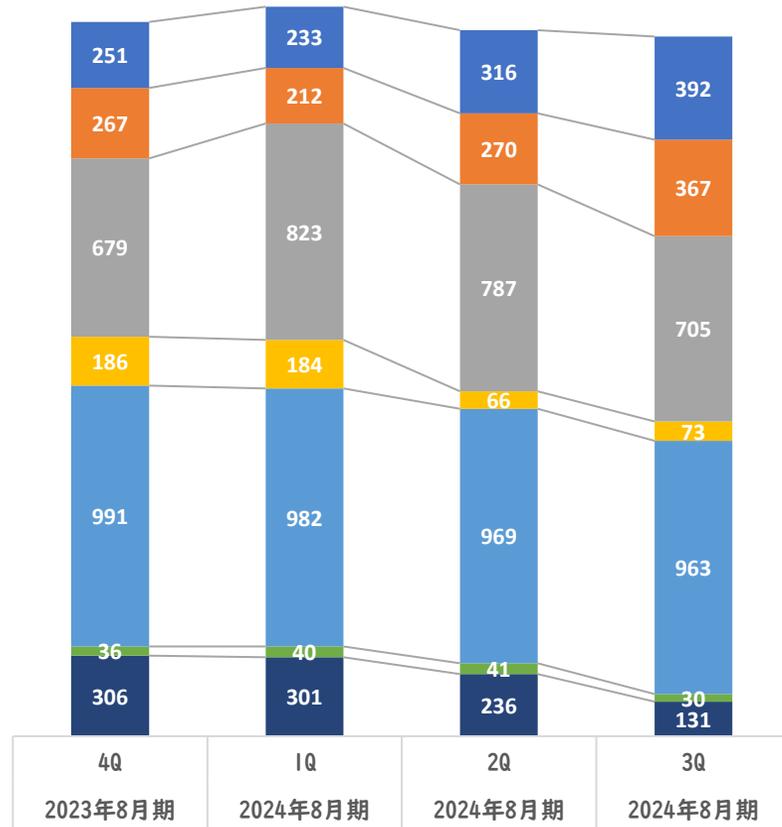
■親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比247百万円悪化し、▲371百万円の結果となりました。

【連結貸借対照表】 2024年8月期第3四半期

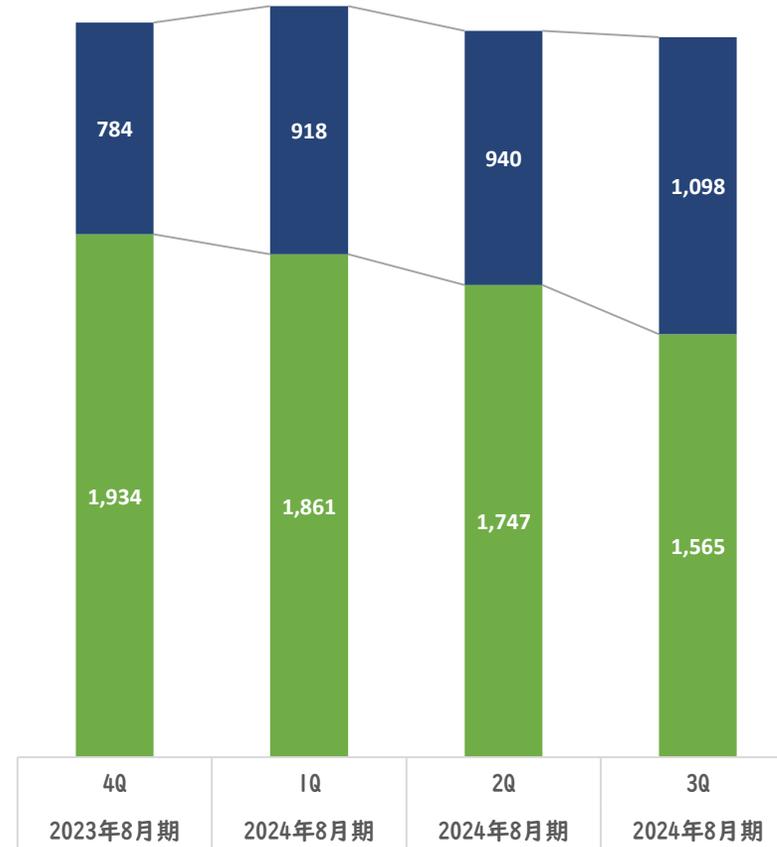
(1) 資産

(百万円)



(2) 負債及び純資産

(百万円)



【(1) 資産関係】

- ① 現金及び預金の増加
法人税及び消費税の還付による増加
- ② その他流動資産の減少
未収還付法人税及び消費税の減少

【(2) 負債及び純資産関係】

著しい増減はございません。

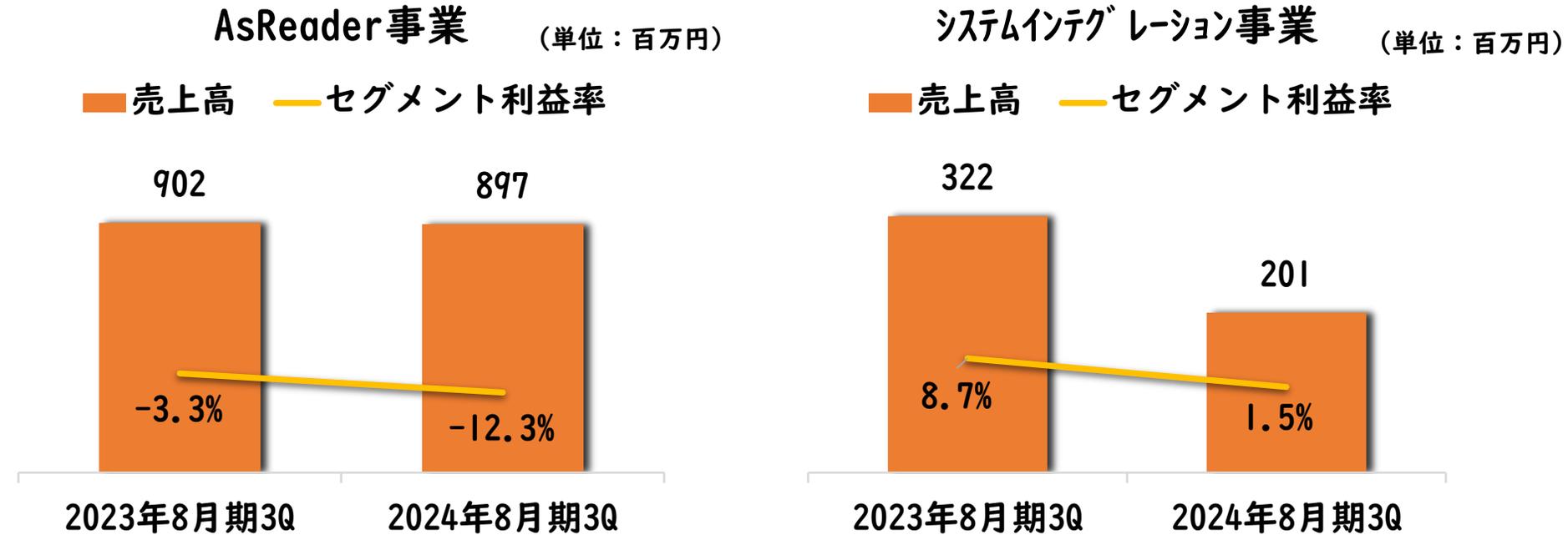
■ 投資その他の資産 ■ 無形固定資産 ■ 有形固定資産
■ 其他流動資産 ■ 棚卸資産 ■ 売上債権及び契約資産
■ 現金及び預金

■ 純資産 ■ 負債

(2) セグメント別業績



【セグメント別業績】



■AsReader事業

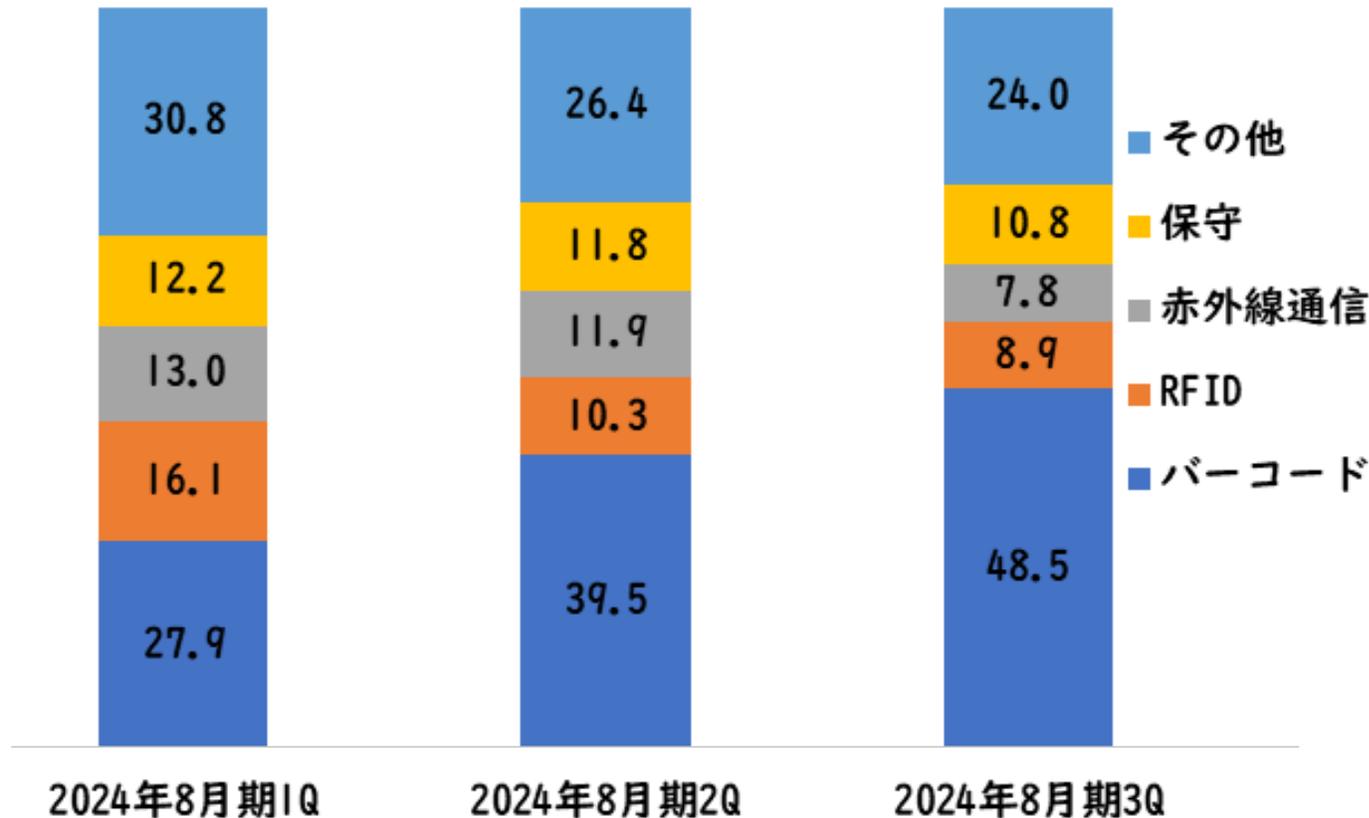
当期（2024年8月期第3四半期）においては、前年と同程度の案件獲得・納品実績となり、売上高は前年同期比0.6%減の897百万円となりました。

■システムインテグレーション事業

当期（2024年8月期第3四半期）は不採算案件の発生に伴い前年同期よりも受注獲得が叶わず、売上高は前年同期比37.4%減の201百万円となりました。

【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



■製品種類別の販売構成推移

2024年8月期第3四半期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2024年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

また、自動販売機での赤外線通信リーダーは、当社がシェアを押さえつつあり、これから伸びてくるものと予想しております。

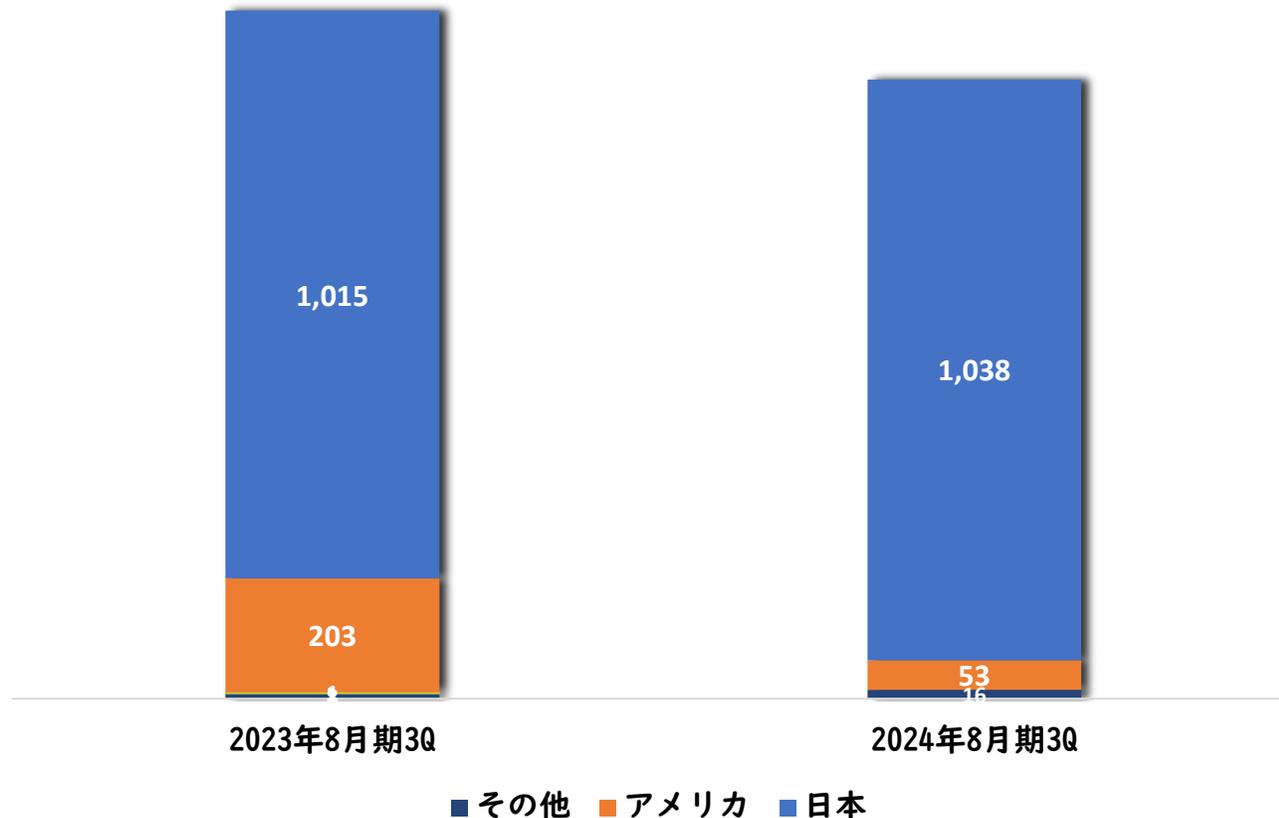
店舗系企業がコロナ開けから業績回復してくるにより、世界的にRFID案件や画像認識案件なども増加すると考えております。子会社「自動レジ研究所」で実証実験を行っている画像認識技術のサービスを新製品・サービスとして提供してまいります。

(3) 地域別業績



【地域別売上高】

(単位：百万円)



■日本

様々な案件の商談は進んでおりますが、当期（2024年8月期）第3四半期累計期間において受注しきれなかったものの、前年同期と同程度の受注・納品となり、前年同期比2.2%の増収となりました。

■アメリカ

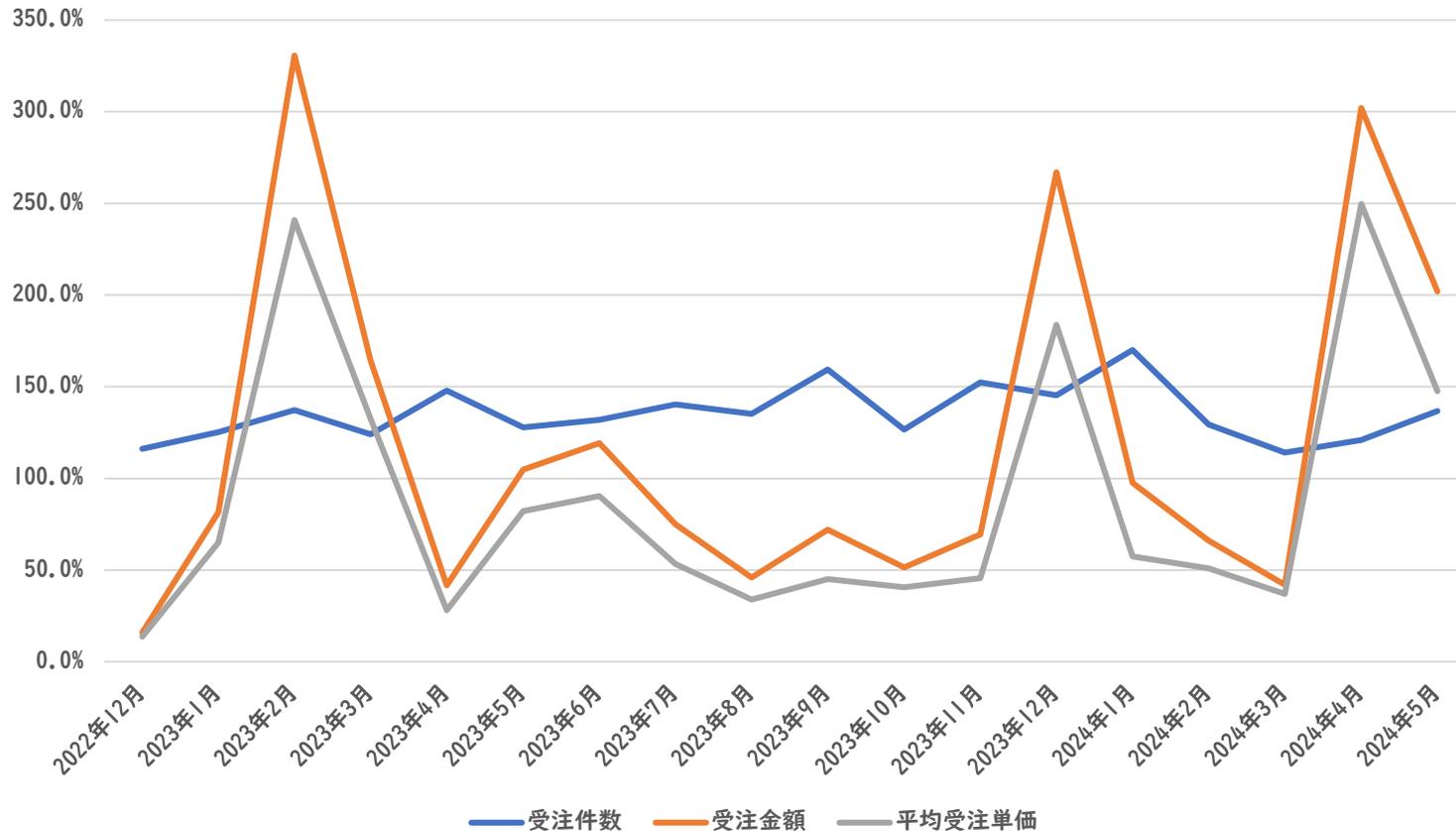
様々な案件の商談は進んでおりますが、当期（2024年8月期）第3四半期累計期間において受注しきれず、前年同期比▲73.7%となりました。

(注) アメリカ、欧州、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

(4) KPI



【受注関連情報（前年比率）】



【総括】

2023年9月～2024年5月については、受注件数は増加したものの、受注金額と平均受注単価は減少となっているものの、第2四半期累計期間時点から数値は改善しております。第4四半期会計期間で更なる改善に向けて営業活動を進めてまいります。

引き続きは既存製品を伸ばしていくと共に、子会社「自動レジ研究所」において実証実験を行っている店舗系システムの受注も進めていきたいと考えております。

【受注件数】

期間中、前年同月比を上回る受注獲得を実現しており、結果、2024年8月期第3四半期時点においては前年比増加で推移しております。

【受注金額、平均受注単価】

2023年12月・2024年4月・2024年5月に大型案件の受注があり該当月は前年比増加となったものの、他の月が前年比減少の結果となり、2024年8月期3四半期時点においては前年比減少で推移しております。

(5) 株式関係



【大株主の状況】

株主名	2023年8月31日時点		2024年2月29日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.0%	3,200,000	45.0%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.9%	278,300	3.9%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.3%	162,000	2.3%	代表取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.7%	120,000	1.7%	ベンチャーキャピタル
個人株主様	116,000	1.6%	112,000	1.6%	個人投資家
株式会社SBI証券	119,230	1.7%	91,630	1.3%	証券会社
J P モルガン証券株式会社			88,600	1.3%	証券会社
薛文宝	60,000	0.8%	60,000	0.8%	執行役員
個人株主様	51,000	0.7%	51,000	0.7%	個人投資家
株式会社キャスト			43,500	0.6%	事業会社
楽天証券株式会社	100,100	1.4%			証券会社
野村證券株式会社	43,000	0.6%			証券会社
その他	2,859,770	40.2%	2,902,370	40.8%	2023年8月31日現在 5,862名 2024年2月29日現在 5,409名
合計	7,109,400	100.0%	7,109,400	100.0%	—

※第3四半期会計期間のため、第2四半期会計期間末の情報を記載しております。

【株価推移】



- ・当期第3四半期累計期間（2023年9月1日～2024年5月31日）の株価推移を掲載しております。

- ・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。

最高株価 911円
最低株価 443円

- ・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

第二部： その他企業情報



(1) 業績予想修正



【損益状況】 2024年8月期通期業績予想修正

(百万円)

	2024年4月12日発表 2024年8月期 通期業績予想	2024年7月12日発表 2024年8月期 通期業績予想	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,813	1,813	—	—
営業利益	▲ 389	▲ 389	—	—
経常利益	▲ 366	▲ 366	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 377	▲ 481	▲ 103	—

■業績予想修正要因

2024年4月12日公表の連結業績予想に対して親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、大幅に悪化する見込みとなりました。

これは、当社が出資している企業に著しい状況の変化が発生し、この状況変化の及ぼす影響から対象企業の投資有価証券の評価を行い、当社の会計監査人との協議を行った結果、第3四半期累計期間の損益計算書において投資有価証券評価損103百万円を計上。2024年4月12日公表の連結業績予想には織り込んでいなかった特別損失であることから、今回の通期の業績予想を下方修正することになりました。

■今後の展開

当社グループは、今後も積極的なビジネスを展開していきます。米国市場においては、現在進行中の長期交渉を成果に結び付け、売上と利益の向上を図ります。また、日本国内市場では、立ち上げに遅れが生じている新規事業や新製品開発を迅速に進めると同時に、現在、交渉を進めているサービス業界、小売業界案件の獲得を通じて売上と利益を向上させる取り組みを強化します。これにより、両市場において当社の成長と価値の創造を継続していきます。

(2) 直近のリリース情報



工業会 日本万引防止システム協会 (JEAS) 賛助会員に

■日本万引防止システム協会 (JEAS) とは

JEASは、経済産業省認定の工業会であり、民主的な手法を用いた防犯対策や防犯プログラムの策定・実施を進め、万引防止システム市場の円滑な拡大と発展を支えるための仕組みや制度づくり及び、普及のための調査研究、行政機関・各種団体・報道機関との連絡・調整等の活動を行っております。

その中で、経済産業省指定の万引防止機器及び防犯カメラ(AI カメラ・顔認証・サーマルカメラ等)の唯一の工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進活動を通じ、流通業界の健全な経営、また 犯罪に強い環境作りという産業的、社会的役割を果たしております。

AsReader Oneの顔認証技術を活用し、JEAS及びJEAS会員メンバー各位と協業し、万引防止に貢献することを目指します。



認定個人情報保護団体 対象事業者

【メディア掲載情報】 2024年5月10日 京都新聞に掲載

2024年5月10日付『京都新聞』に、自動レジ研究所が運営する「こがね製麺 草津栗東店」の顔認証による手ぶら決済に関する記事が掲載されました。



【製品発表】賞味期限管理アプリ Sdc0 (Simple date check OCR)

OCRとバーコードを活用した期限管理アプリ「Sdc0 (エスデコ)」の発売を発表します。Sdc0 (エスデコ) を導入することで、現場作業の負担を軽減すると同時に、賞味期限などの期限を適正に管理し、SDGs 目標12.3に掲げられている食品ロスの削減に繋がることが期待されます。

■Sdc0 (エスデコ) とは

「Sdc0 (エスデコ)」は商品に記載された賞味期限をOCRで読み取ることが出来ます。登録された直近の賞味期限を元に、システム内で商品の撤去開始日を算出し、撤去することで作業の正確性と効率を上げるものです。賞味期限ではなく、製造年月日のみが記載された商品の場合は、製造年月日から撤去開始日を計算することも可能です。



【製品発表】 iOS、Androidの両端末で使える 超薄型で軽量のバーコードリーダー 「AsReader SLIM」

AsReader SLIMはバーコード、2次元コードの主要なバーコードに対応し、スマートフォン装着からアプリ起動、読み取りまで簡単に素早く操作可能です。

主な特徴は次の3点になります。

- ①USB-Cコネクタでスマートフォンと有線接続
- ②コンパクトで超軽量
- ③操作性が良い



【製品発表】顔認証ハードウェアとして、セキュリティを強化した「AsReader GoMA Home / GoMA Professional」の2機種を発表

アスタリスクは、顔認証を活用した施錠システムとしては、これまで「AsReader GoMA」を、一般消費者から企業様に向けてさまざまなプランをご用意し、販売してまいりました。

このAsReader GoMAを実際に使用していく中で、細かな課題の洗い出しとその課題に対して改良を重ね、いっそうの動作安定性を備えた新型機として、「GoMA Home」と「GoMA Professional」の2機種の開発を進めてリリースに至りました。



【製品発表】 As Key Cube

「As Key Cube」は、アスタリスクが提供する人物特定、認証のクラウドサービスである「AsReader One」で培った顔認証技術と、当社が 2024 年 1 月 9 日発表いたしました RFID リーダーライターの製品「キューブタイプ」を活用した、電波の漏れを防ぎつつ筐体内の RF タグを読み取る特殊筐体「AsCube」を用いて、鍵を持ち出した人を認識、特定したうえで、鍵に付いた RF タグを一括して読み取ることによって、鍵束単位での持ち出し情報を管理するシステムです。

これにより、鍵の不正持ち出しを防ぎ、鍵束の利用状況の管理、履歴確認も可能になります。



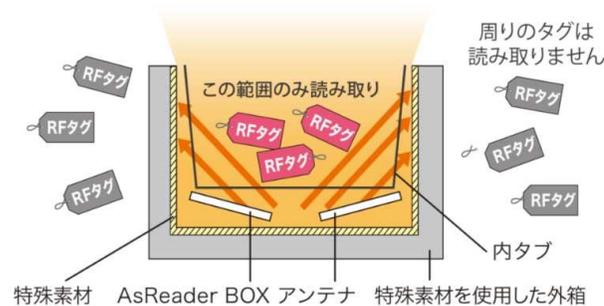
【導入事例】 無人アパレル店舗に「RFID Reading Tub」を導入。 RFIDセルフレジを実現！

電波の漏れを防ぐ特殊筐体にRFIDアンテナを内蔵した「Reading Tub」が、株式会社RESTA様が運営する無人アパレルショップ「#古着de行こか。」に導入されました。

RESTA様は、無人販売店での使用に特化したセルフPOSレジシステムの開発販売を行うとともに、無人のアパレルショップ「#古着de行こか。」の運営も行っています。

今回、その無人店舗でのRFIDでのセルフレジ実現のため、アスタリスクが開発した「RFID Reading Tub」を購入商品の読み取りとしてご導入いただきました。

RFIDアンテナと、電波が遮断されるイメージ図



二重の特殊素材によりRFID電波を閉じ込めているので、タブ内部のみを読み取ります。



【導入事例】総合スポーツショップ店舗の在庫管理

総合スポーツショップ、アウトドア専門店、ゴルフ専門店を北海道から沖縄まで約400店舗展開し、最近ではAlpen TOKYO・Alpen FUKUOKAなどの旗艦店も出店されている株式会社アルペン様に導入いただきました。

スマートフォンにリーダーモジュールを合体させたDOCK-Typeに加え、スマホのカメラを使ってバーコードを読み取るCAMERA-Typeを併用され、業務内容に合わせた適材適所なリーダー活用で業務改善に繋がっております。また現場スタッフの声を生かした柔軟なスマートフォン活用を行うことで、今まで以上に働きやすい職場環境の実現と顧客満足度の向上を目指しております。



【製品発表】 デジタルショーケース

アスタリスクは様々な業界のDX化を推進する中で、流通、小売業などにおいて、大量に取り扱う商品の効率的な管理と展示方法の改善が急務と考えておりました。そのため、従来の方法にとらわれず、革新的で新しい見せ方を取り入れることで、より効果的な商品アピールと顧客体験の向上を目指すことにしました。この新しい展示手法の導入により、商品をより魅力的に見せることが可能となり、来店機会の増加と売上拡大に繋がると期待しています。



【開催報告】 満員御礼！

「AsReader Conference2024」を開催いたしました！

2024年5月24日(金)、日経ホールにて「スマートフォンを活用した現場DXの推進」をテーマにした、アスタリスク最大のプライベートセミナー「AsReader Conference 2024」(以下「AC2024」)を開催しました。

業務へのスマートフォン活用の可能性や、実際の導入企業様のスマートフォン活用例のご紹介。

RFIDの技術をより詳しく知っていただくためにパートナー企業様にご協力いただき、RFIDの活用事例のご紹介。

AC2024開催と同日に発表した各種製品の説明の他、アスタリスクが現在開発を進めている顔認証技術の可能性や、ロボット開発についてご説明をしました。

その他、海外で活躍するメンバーの紹介やAsReaderの製品開発に関する姿勢やこだわりを発表させていただきました。



【導入事例】中河内救命救急センター「AsReader」を導入

時間との戦いとも言える緊急度の高い現場で、ミスなく迅速な医療行為を行うため、院内では患者、医療従事者、投与する輸血や輸液を紐づける「三点認証」が徹底されています。

この度、従来はバーコードで行われていた「三点認証」に、RFタグのついた患者認証用RFIDリストバンド「E-ブレス® (※1)」を導入し、AsReader ASR-0230Dで読み取ることで、より確実にスピーディな医療につながっていらっしゃいます。

※1：E-ブレスはホクユーメディックス株式会社の特許製品、および登録商標です。



(3) 直近の展示会出展予定



3. (3) 直近の展示会出展予定

【国内】

国際物流総合展2024（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年9月10日（火）～13日（金）

対象：物流系

第26回 自動認識総合展（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年9月11日（水）～13日（金）

対象：自動認識技術・ソリューション系

第4回リテールテック 大阪2024（インテックス大阪）

開催期間：2024年10月17日（木）～18日（金）

対象：小売・流通系

商業施設・店舗DX展（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年12月11日（水）～13日（金）

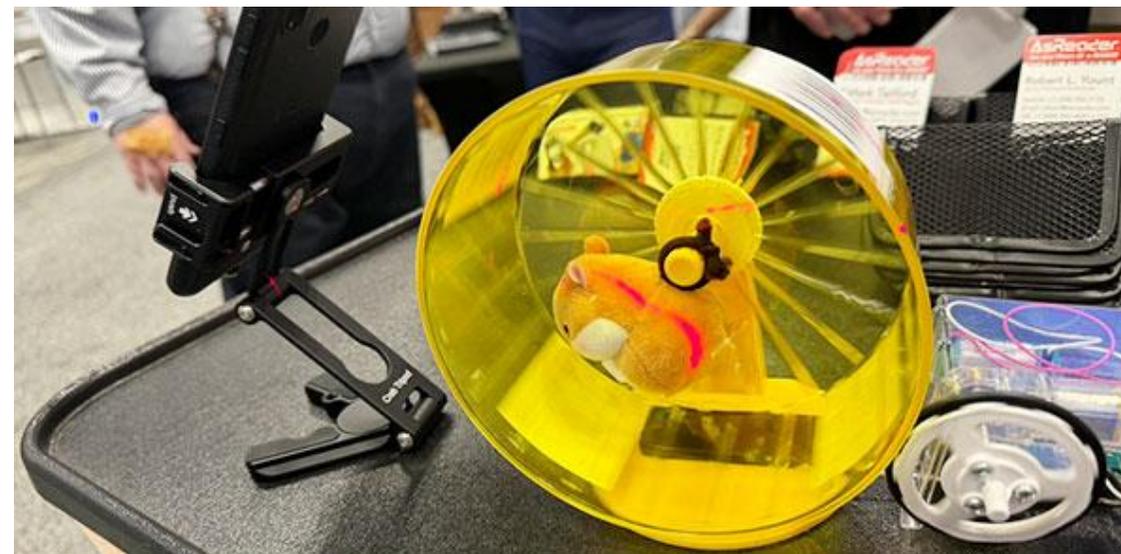
対象：商業施設・店舗系

【海外】

「PACK EXPO International 2024」（アメリカ・シカゴ）

開催期間：2024年11月3日（日）～ 11月6日（水）

対象：流通系



【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I R に関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

【I R お問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

